

頸動脈エコー

★**検査チェックシートに「頸動脈超音波」の項目があることを確認する**

①QR読み込み→「単独検査」を選択し、「頸動脈超音波」から読み込む

※属性転送方法については別紙参照

※**腹部の項目で頸動脈を検査してもレポートで画像は表示されない**ので、**必ず検査する臓器を選択して転送すること**

②以下本人から聴取し、内容をレポートの【検査コメント】欄に入力

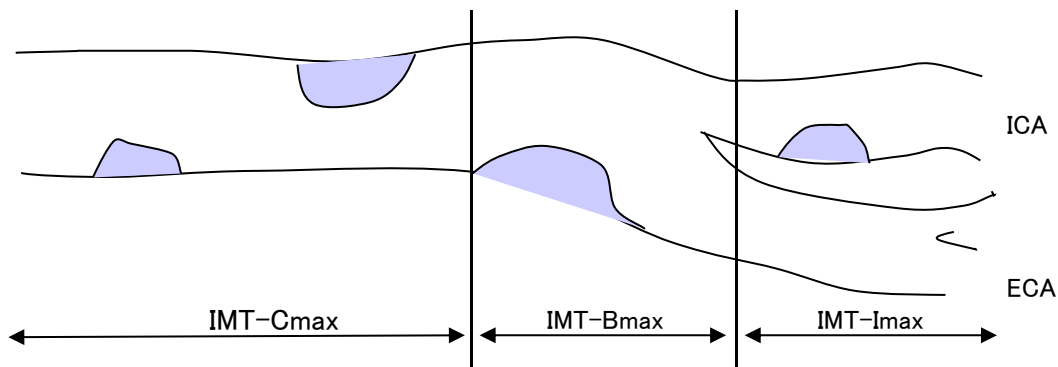
- ・喫煙歴
- ・血圧、脂質異常症、糖尿病など動脈硬化のリスクに関わるものの治療中の有無
- ・脳卒中など動脈硬化による既往の有無

③レポートの【STELLAR】で、前回判定がE判定(要精査)・C6判定(経過観察6か月後)の場合は、下記項目を受診者から聴取し、レポートの【検査コメント】欄に入力する。

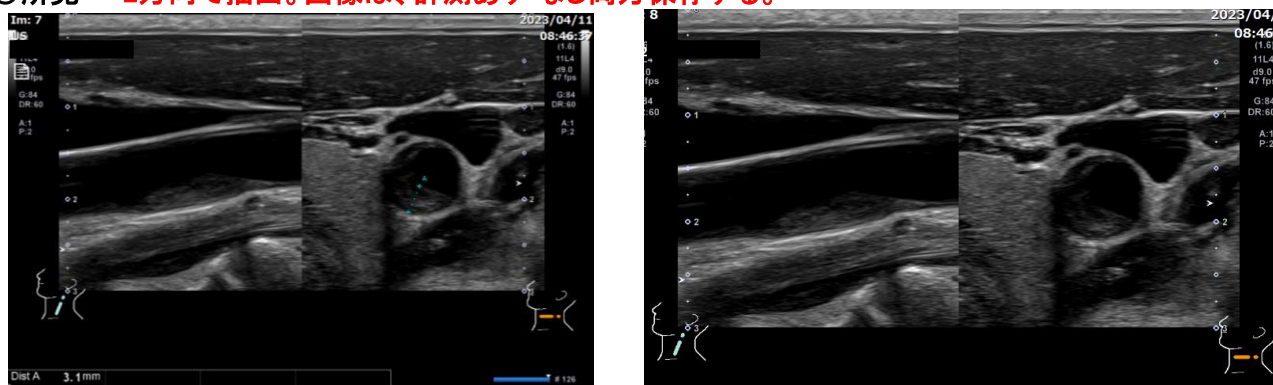
- ・受診の有無
- ・受診した場合、医師からどのように言われているか
- ・経過観察をしているか(受診期間など)

④検査は左右どちらから検査しても良い。**必ずボディマークはつけること。**

◎基本画像 CCA・Bif・ICAで左右それぞれ3枚撮影(正常であれば計6枚)



◎所見 2方向で描出。画像は、計測あり・なし両方保存する。



- ・左右のmaxIMTがいずれも1.0mm以下→「所見なし」
プラーク、壁肥厚を伴わない石灰化は記載不要。
- ・maxIMT1.1mm以上を所見として扱う
- ・狭窄：面積狭窄率(プラーク占有率) $\geq 50\%$ →所見に「狭窄」と表記
- ・狭窄(+)時は、PSV計測 →画像保存のみで良い。レポート入力不要。
- ・同一箇所複数のプラーク性状を同時に認めた場合、下記の順で、優先順位の高いプラーク性状を選択する
【可動性】>【低輝度、潰瘍性】>【等輝度、高輝度(石灰化)】
- ・外頸動脈はプラーク、壁肥厚の評価対象とはせず、「閉塞」のみ所見に記載。
画像は残しても良いが、その場合は【検査コメント】欄に詳細記載しておく。
(例 右ECA 等輝度プラーク+ 等)
- ・甲状腺の取り扱い
腫瘍：20.1mm以上のものを記載
びまん性病変：腫大、内部不均一、辺縁不整の高度なものを記載
※甲状腺所見を報告する際、レポート【検査コメント】欄に下記内容と超音波所見を記載する。
 - ・受診の有無
 - ・受診した場合、医師からどのように言われているか
 - ・経過観察をしているか(受診期間など)※「甲状腺超音波検査」が検査項目にある場合は、甲状腺検査として改めてQRの読み込みが必要なため、
頰動脈検査時は甲状腺は検査しない(=撮影しない)。
※前回は甲状腺病変が記載されているが、現行の基準では「記載すべき所見」に該当しない場合、
検査担当技師は、甲状腺に関しては記載しない。
画像は残しても良い。所見に載せない旨を【検査コメント】欄に記載する。

- ⑤レポート入力 ※「診断」「疑い」「指示項目」「判定」は読影医が使用する項目なので入力しないこと
 ・「部位1」 右・左・両側

| 診断 | 疑い | 部位1 | 部位2 | 所見 | 指示項目 | 判定 |
|----|----|-----|-----|----|------|----|
| | | 右 | 両 | | | |
| | | 左 | | | | |

- ・「部位2」 総頸動脈・内頸動脈・外頸動脈・甲状腺など

| 診断 | 疑い | 部位1 | 部位2 | 所見 | 指示項目 | 判定 |
|----|----|------|------|-------|------|----|
| | | 総頸動脈 | 外頸動脈 | 鎖骨下動脈 | 頸部 | |
| | | 内頸動脈 | 椎骨動脈 | 甲状腺 | | |

- ・「所見」

| 診断 | 疑い | 部位1 | 部位2 | 所見 | 指示項目 | 判定 |
|----------------|----|-----|-----|---------|---------|---------|
| 内膜中膜複合体（IMC）肥厚 | | | | プラーク | 狭窄 | 石灰化像 |
| 閉塞 | | | | 等輝度プラーク | 低輝度プラーク | 高輝度プラーク |
| 潰瘍型プラーク | | | | 描出不良 | 描出不能 | 血管蛇行 |
| 拡張 | | | | 萎縮 | 奇形 | 走行異常 |
| 血流異常 | | | | 炎症性肥厚 | リンパ節腫大 | 腫瘤性病変 |
| 結節性病変 | | | | 甲状腺腫大 | 甲状腺のう胞 | その他 |
| 所見なし | | | | | | |

上記3つをレポート下段より選択し、入力する。
 頸動脈エコーでは、レポートへの画像貼り付けは不要。

入力完了後

| | |
|---|-----------------------|
| 1 | 両 総頸動脈 等輝度プラーク |
| 2 | 右 内頸動脈 等輝度プラーク |
| 3 | 左 総頸動脈 狭窄 |
| 4 | 左 内頸動脈 内膜中膜複合体（IMC）肥厚 |

◎「所見なし」の場合

所見なしの場合はこちらのボタンを押す

| | | | |
|---|---|------|------------------|
| 1 | 両 | 総頸動脈 | 等輝度プラーク |
| 2 | 右 | 内頸動脈 | 等輝度プラーク |
| 3 | 左 | 総頸動脈 | 狭窄 |
| 4 | 左 | 内頸動脈 | 内膜中膜複合体 (IMC) 肥厚 |

所見なし 1行クリア

◎所見あり

下記項目に数値、チェックを入れる(レポート上段・中央)

| < 右 > | | | < 左 > | | |
|---------------|-----|--|---------------|-----|--|
| MAX-IMT | 1.6 | mm | MAX-IMT | 3.3 | mm |
| NASCET(%) | | | NASCET(%) | | |
| ECST(%) | | | ECST(%) | | |
| Area(%) | | | Area(%) | | 57.3 |
| 最大血流速度 (cm/s) | | 狭窄【定性】 | 最大血流速度 (cm/s) | | 狭窄【定性】 |
| | | <input type="radio"/> (-) <input type="radio"/> (+) | | | <input type="radio"/> (-) <input checked="" type="radio"/> (+) |
| プラーク性状 | | 等輝度 | プラーク性状 | | 等輝度 |
| プラーク【定性】 | | <input type="radio"/> (-) <input checked="" type="radio"/> (+) | プラーク【定性】 | | <input type="radio"/> (-) <input checked="" type="radio"/> (+) |
| 閉塞【定性】 | | <input type="radio"/> (-) <input type="radio"/> (+) | 閉塞【定性】 | | <input checked="" type="radio"/> (-) <input type="radio"/> (+) |

★検査コメント欄に入力する内容

- ・前回受診歴 ※他機関で受診した内容は必須
- ・担当名
- ・前回判定がE(要精査)、C6(経過観察6か月後)の場合、受診の有無と受診後の対応を確認し記載 (STERRARで確認必須)

【注意】

- ・**頸動脈所見なし、甲状腺所見あり**の場合は下記の通り入力する
 - ①【所見フリー】欄 「頸動脈所見なし」と入力する
 - ②「部位1」 右・左
「部位2」 甲状腺
「所見」
 - ③【検査コメント】甲状腺病変についての超音波所見の詳細を記載する